

Hiroshima Austria Association

NEWSLETTER



2021

Vol. 44

広島オーストリア協会 会報

Dear Members, 

2021年6月15日発行  
編集・発行 広島オーストリア協会  
〒730-8552 広島市中区白島北町19番2号  
広島ホームテレビ総務局内  
TEL(082)221-4964 FAX(082)221-4905

## 会長就任のご挨拶



広島オーストリア協会  
会長 三吉 吉三

会員の皆様方には、平素より広島オーストリア協会の活動に、ご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年は総会の開催が中止となり、6月に実施された書面決議により、私は、大辻茂前会長の後任と致しまして広島オーストリア協会会長に就任いたしました。昨年春よりすべての協会行事が中止を余儀なくされておりますため、未だ、皆さまの前で就任のご挨拶を申し上げることができず、この会報誌面でのご挨拶となりましたが、何卒一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

大辻茂前会長が長きに亘り、日本・オーストリア間の友好関係構築に貢献されたことに深く敬意を表すとともに、今後とも両国の交流が、友好の精神に基づき、ますます活発なものとなり、会員の皆様にオーストリアをより身近に親しんでいただけるよう、活動の充実に努めて参ります。引き続き、温かいご支援、ご協力のほど、よろしくようお願い申し上げます。

皆様方のご多幸とご健勝を祈念申し上げますとともに、お目に掛れる機会が一日も早く訪れますことを心から願って私のご挨拶とさせていただきます。

## 会長退任のご挨拶

私は昨年6月を以って当会会長を退任いたしました。2012年6月橋本前会長の後を受けて会長に就任以来8年間に亘り大過なく協会運営の任を果たすことができましたことは、ひとえに会員の皆様、広島ホームテレビ事務局の皆さん、関係各位のご理解とご協力のお陰であり、ここにあらためて感謝致します。新型コロナウイルスの影響で、直接皆様にご挨拶をさせていただく機会がなかったことにつきましても、大変残念であり、お詫び申し上げます。

さて、私は協会運営に当たって会員間の親睦の増進を基本とし、定例会はじめ年数回の会合を持ち、本当に多くの方に参加して楽しんで頂きました。クリスマス例会でのお楽しみ抽選会での皆さんの笑顔は、大変思い出深く、私の胸に焼き付いております。

また、名誉領事として2度にわたってオーストリアを訪問する機会にも恵まれました。一度目は2013年、当時の外務省アジア局長との面会、ウィーン市で開かれているイベント「ジャパンデー」にも参加し、広島から自費で参加された当会会員の方たちや、現地の人達と交流を持つ事が出来ました。

2015年にはウィーン名誉領事会議に出席し、大統領主催のレセプションに参加するなど、非常に名誉ある経験をさせていただきました。このように、日本とオーストリアの友好親善と相互理解に寄与することができ、広島における二国間協会の在り方として一応の役割は果たせたのかと思っております。

然しながら組織は常に発想の転換を繰り返す事によってのみ進歩するものです。今後三吉会長のもとで新しい観点も取り入れた諸事業を展開され、協会が一層発展することを心からお祈りし、ご挨拶と致します。



広島オーストリア協会  
名誉会長(前会長) 大辻 茂

駐日オーストリア共和国大使

エリザベート ベルタニョーリ閣下よりメッセージをいただきました。

## 広島オーストリア協会の皆さまへ

2020年9月、いまだかつて経験のない状況の中、新たなオーストリア大使として東京に赴任いたしました。日本もその他の国々と同様に、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による影響を受け、オリンピック、パラリンピックは延期となり、公私ともに多くの行事が制限されております。広島オーストリア協会の行事に参加できますことを楽しみにいたしておりますが、まずは、会報の誌面にて、皆様にひと言ご挨拶申し上げたいと思います。

2019年、オーストリアと日本は友好150周年を迎えました。その特別な記念の年を祝し、数多くの素晴らしい文化行事がオーストリア、日本の両国で開催されましたが、アレクサンダー・ファン・デア・ベレン大統領、セバスティアン・クルツ連邦首相の来日、秋篠宮 佳子内親王妃殿下のウィーン訪問など要人の往来は、両国の長年に亘る友好の歴史が育んだ力強い絆を示すできごとでもありました。

現在、私たちは世界的な渡航制限や検疫対策に直面していますが、まずは、私たちが安全、そして健康に過ごすことが何よりも大切であり、そのために、人々と交流し、友情を育んでいくために新しい方法を模索し、立ち止まって考えることが必要となっております。

オーストリアと日本は文化的にも強い絆があるように、私たちはその交流を継続するため、多くの方法を見出したわけですが、例えば、世界最大級のメディアアートの祭典「アルスエレクトロニカ」で行われたバーチャルな「東京ガーデン」では、ウィーン国立歌劇場から日頃の有識者、専門家によるZoomセミナーがライブ配信され、#JapanRevisited202xと呼ばれるオンラインギャラリーでは、オーストリアのアーティスト達が日本をテーマに夢、記憶、想像をめぐらせ100を超える素晴らしいプロジェクトを披露しました。

2020年秋には、世界的にも著名なウィーンフィルハーモニー管弦楽団を日本へ迎えるという大変名誉な記念すべきできごともありました。新型コロナウイルス感染症の大流行以来、初の海外公演となっただけでなく、日本で公演を行った唯一の海外オーケストラでもありました。このことは、日本の多くの関係機関、ファンの皆様の心温まるご支援、ご協力があってこそ実現した奇跡とも呼べるできごとでした。

広島オーストリア協会は、長年に亘り活動を続けてこられたとうかがっておりますが、歴代会長をはじめ、大辻茂名誉領事のご尽力、ご支援に感謝申し上げます。

また、広島オーストリア協会 三吉吉三新会長のご就任を心からお慶び申し上げ、今後ともご協力をお願いできれば幸いです。

昨年の駐日大使就任後、わずかに訪れることができた国内の都市の一つが広島でしたが、力強く近代的な街の印象が心に残っております。特に、平和記念資料館・公園の訪問で、1945年に投下された原子爆弾の犠牲となられた被爆者に祈りを捧げ、ご遺族に思いを寄せる機会を得たことは大変貴重な経験でした。オーストリアは世界における非核化の重要性を認識しており、去る1月22日の核兵器禁止条約の発効においても、協力国と共にイニシアティブを担い、力を尽くしました。旅の思い出を胸に、また広島を訪れる日が来ることを楽しみにしております。

2021年は丑年、新しい始まりと成功に向かって、一歩ずつ着実に前進を続ける年だと言われるそうですが、私たちオーストリア大使館も同様に、広島オーストリア協会の皆様との絆を大切にしながら、この厳しい日々を共に歩み、両国の文化的な交流はもちろん、心の友として友情を深めることができればと思っております。

エリザベート ベルタニョーリ





## Members of the Hiroshima-Austria Association!

In September 2020 I arrived in Tokyo as the new Austrian Ambassador to Japan under unparalleled circumstances. Just like the rest of the world, Japan is dealing with the impact of the COVID19-pandemic, the Olympic and Paralympic Games are postponed and professional as well as social gatherings are extremely limited. While I look forward to meeting with the Hiroshima-Austrian Association in person in the future, I am happy about this opportunity to contribute a few lines to this newsletter.

In 2019, Austria and Japan celebrated 150 years of friendship; numerous prestigious cultural events took place in Austria and Japan to highlight this anniversary. 2019 was also the year of several high profile visits, including those of the Austrian head of state, President Alexander Van der Bellen, and Chancellor Sebastian Kurz to Japan, as well as Her Imperial Highness Princess Kako of Akishino's visit to Vienna which all underlined the strong and multifaceted bilateral relations.

Facing global travel restrictions and quarantine measures, but - most importantly - the need to stay safe and healthy, we all had to rethink our way of interacting and develop new ways of connecting and fostering our friendship. As the cultural bonds between Austria and Japan are particularly strong, we found many ways of keeping this exchange alive; to name just a few: as part of Ars Electronica's virtual "Tokyo Garden", through live streams from the Vienna State Opera, Zoom seminars by Japanese and Austrian academics and the online platform and gallery #JapanRevisited202x which presents more than 100 fantastic projects by artists from Austria and their dreams, memories and imaginations of Japan.

In autumn 2020, we had the exceptional pleasure and honor to welcome the world renowned Vienna Philharmonic Orchestra to Japan on their only international tour since the outbreak of the pandemic and as the only foreign orchestra to perform in Japan during that time. This was generously made possible by

the kind support and cooperation of public and private Japanese institutions and friends.

The Hiroshima-Austria Association looks back at more than 15 years of activities. I would like to thank former president and Austrian Honorary Consul Mr. Shigeru Otsuji for his great contribution to shaping this important forum. Furthermore, I want to congratulate Mr. Kichiso Miyoshi on his position as new president of the Hiroshima-Austria Association and thank him for his commitment.

Last year, one of my first few trips in Japan led me to the City of Hiroshima and left me with admiration for its strong and modern character. I was especially touched by the Peace Memorial Museum and Park where I had the chance to pay tribute to the victims of the 1945 Atomic Bomb and their descendants. Austria strongly believes in a world free of nuclear arms. On 22nd January the Treaty on the Prohibition of Nuclear Weapons, which was adopted at initiative of Austria and its partners, entered into force. With fond memories of the city I hope for a chance to return to Hiroshima soon.

It is only fitting that 2021, the year of the Ox, stands for new beginnings and success through steady little steps. In that sense, the Austrian Embassy looks forward to the continuous close cooperation with the Hiroshima-Austria Association throughout this journey and beyond to promote bilateral exchange, especially in the field of culture but most importantly through friendship.

**Elisabeth Bertagnoli**





2020年8月6日

平和記念式典に参列するためチェルス公使が広島を訪問されました。その後、在広島名誉領事館を訪問され、定例監査が行われました。



2020年11月25日

昨年9月に就任されたベルタニョーリ大使が、在広島名誉領事館大辻名誉領事、三吉広島オーストリア協会会長を訪問されました。平和記念資料館を熱心に見学された後、慰霊碑に献花され、祈りを捧げられました。



■世界文化遺産  
オーストリア湖畔の街「ハルシュタット」

《事務局より》

2020年度は、理事会・総会、ビアホールでの会、クリスマス例会などの予定がすべて中止となり、皆さまと共にオーストリアに親しみ、交流を深める機会がございませんでした。2021年度も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、年度内行事を中止とさせていただきます。一日も早く感染状況が落ち着き、再びお目にかかれます日を楽しみに、それまでは日本で触れることのできるオーストリアの音楽をはじめとする芸術文化を心の慰めとして、このコロナ禍を乗り切って参りたいと思います。皆さまのご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。